

これまでの上小山田地区における説明会でのご意見・ご要望

(町田市ホームページに掲載している

「新しいごみの資源化施設の建設に関する説明会の会議要旨」から抜粋)

<https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/gomi/newshisetu/setumeikaikaigyousi.html>

【開催日程】

2013年6月15日 下小山田町内会説明会

2013年6月29日 上小山田町内会説明会

2014年3月15日 上小山田町説明会

2014年7月19日 上小山田町説明会

(2014年7月19日・2015年10月16日小山連合地区長会)

【ご意見・ご要望の要旨】

・資源化施設の概要について

分散化について

- ・資源ごみ処理施設の分散配置の考え方で8つの施設が示されているが、3ヶ所のうち、どの地域でやるのか。上小山田西部エリアにはどのような施設が入ってくるのか説明してほしい。

容器包装プラスチックの処理施設について

・過去の経過

- ・プラスチック中間処理施設は、リサイクル文化センター・南地区・小山ヶ丘と過去3回、白紙撤回されている。今回は、これらと、何が、どのように違うのか聞きたい。

・安全性への不安

- ・圧縮実験を密閉された空間で行い、フィルターを通した結果、何も出ていないとわかるような、実験をしてほしい。
- ・プラスチックのガスを出されたら住民では対応できない。出さないよう対応してもらわないと困る。
- ・プラスチック圧縮ガスのデータを出して、説明するのが当たり前だと思う。後になって「公害でした。」と言われても困る。

規制値について

- ・法規制値を超えた場合は、すぐに停止するのか。
- ・規制値が瞬時に超えた場合でも、止めるのか。
- ・測定する場所はどこなのか。また、いつ測るのか。例えば騒音で、45dbを超えたら、すぐに止めるのか。
- ・先進市の事例でも、建物には換気や窓やシャッターがついていた。騒音・振動、臭気は密閉するといっても、外部に絶対漏れると思う。
- ・実績が既にある施設を作る・後進自治体である町田市としては、判っている物質が結合し、判らない物質が発生する可能性がある」と説明があったが、その物質を特定する努力をすべきではないか。

臭気について

- ・脱臭装置では「臭い」を取り除くだけで、トルエン、他は残るのではないか。
- ・脱臭装置によってどの程度濃度が下がるのか。
- ・八王子市の施設を見学したが、すごい臭いがつく。このような状況だが、負圧とは何ヘクトパスカル下げるのか。活性炭だけで処理できるのか。
- ・負圧にするとのことだが、あの規模で本当にできるのか。完全な密閉型にするのか。
- ・臭気指数は、人間の感覚によるもの。いい匂いのものは、臭気指数が高くてもいいと感じる。悪いものは、その逆である。

周辺環境への影響について

- ・ 収集車の台数やルート（交通量の増加による危険）
- ・ 道路について、通学路になっており、バスも通る。施設ができると搬出入でトラックが頻繁に通るのではないかと心配している。小山田のバスの折り返し所から平、池の平、種入の付近は歩道がないところもあり危険である。地域にはお年寄りもたくさん住んでいるが、歩行者の安全確保についてはどう考えるのか。
- ・ このエリア一体の道路は、きわめて危険である。交通量もわからずに施設の検討はできない。
- ・ 地下水への影響
- ・ 西部エリアは、JRのリニア新幹線、小田急線の唐木田から相模原への乗り入れが計画されている。近くには鶴見川の源流があり、水の汚染の問題もある。
- ・ この地域は里山としての環境が残っている。旧上妻病院付近は水が出る。大きな開発などで地下水が枯れて虫が死滅する可能性がある。建設段階で環境が保たれるように計画してほしい。施設による影響がないのかははっきりしてほしい。

周辺道路整備等について

- ・ 忠生579号線・農免道路、小田急多摩線延伸計画
- ・ 579号線・忠生2000号線・都道・常盤からのバス通りの拡幅終了後に施設を建設してほしい
- ・ いつ、どの道路を、どのように整備するのか。今年度か来年度あたりまでに検討して、スケジュールを示してほしい。
- ・ 忠生579号線が2020年度までに作るという説明が7/12にあった。そこでは、南大沢から着手するとのことだった。そうすると、バス折り返し場まで作るのはどうでもよくて、資源化施設まで作ればよいという魂胆が見える。
- ・ 施設を作るまでに、道路を作るという考え方でよいのか。
- ・ 資源化施設の同意が得られなくても、道路だけは最終的に造るという理解でよいのか。
- ・ 技術的なものについては、しっかりとやってほしい。2020年度稼働という目標には、2018年度工事開始。その前に、少なくとも、2年前に道も作らなければならない。最終的にこれらを進めると判断するのは、地元の了解を得て、何ができたら進めると判断することになるのか。

候補地選定について

- ・ 建設地について、検討委員会では客観的に選定をしてきたというが、その内容は開示されているのか。
- ・ 市民は公平に負担すべきなのに、鶴川にはこのような施設はない。危険なものでないのであれば旧市役所跡地に造ってもらいたい。
- ・ 候補地選定の地図を見ると、芝溝街道から北に偏っている。現在のごみ処理場、多摩の清掃工場、火葬場もあるので最初からはずしておくべきだったのではないかと。

北部丘陵地域の計画との整合性

- ・ 町田市が農と緑の基本計画で、北部丘陵地域について決めている。道路を造っていくことなども大事であるが、あくまでも農と緑を基本にしたまちづくり計画にふさわしいものにしていく必要がある。資源ごみ処理施設をこの地域に造るのは適当ではないのではないと思う。
- ・ 「ごみ処理施設を造る」というのと北部丘陵地域に対する基本的な計画と合致しないと思う。農業を中心とした緑の豊かな地域にするという基本計画を町田市は持っている。なぜこの地域にこの施設を造るのか明らかにしてほしい。

その他

- ・ 地元としてのメリットはどこにあるのか。